

# 広報 ただみ

9  
2010 月号  
No. 484  
平成22年9月10日



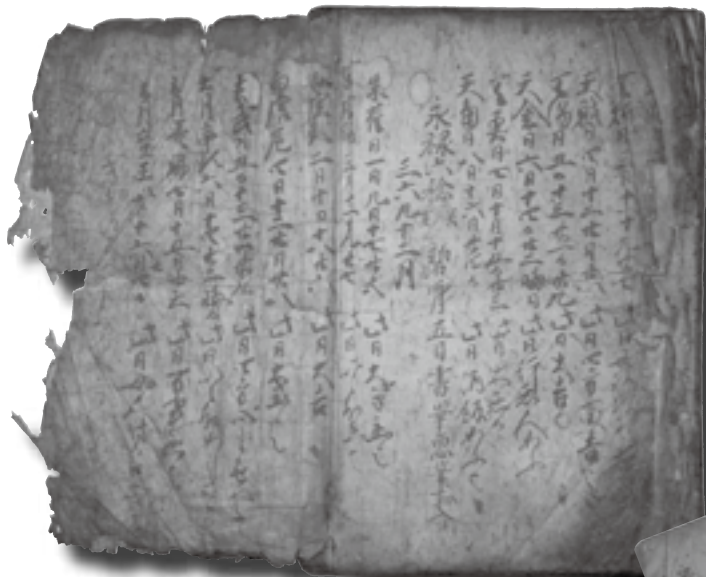
## 今月の表紙

只見高等学校が行う第13回「雪椿祭」の仮装行列が、9月4日に  
行われ学校から只見保育所ま  
での国道を歩き、沿道に集ま  
った町民の目を楽しませた。只見  
保育所前では各クラス別にパ  
フォーマンスを披露。保育所児  
や観客が拍手を送った。

## 発見・只見町のホウイン（法印） の家に戦国時代の書物… 2～3

平成22年度只見町成人式	4～5
新しいプールで最初の記録会・明和小水泳記録会	6
第1回町政懇談会 他	7～9
町の話	10～11

# 日本の 地方文化を見直す 大きな発見



▲『陰陽雑書抜書』(櫛戸・龍蔵院本)



『籠篋傳』(只見・吉祥院本) ▲

只見町のホウインの家の蔵書調査によって、戦国時代の陰陽道の写本が発見されました。吉祥院本『籠篋傳』は元龜三年(一五七二)の書き入れがあり、龍蔵院本『陰陽雑書抜書』は永祿六年(一五六三)の奥書があります。いずれも全国で三番目に古い写本であることが判明しました。陰陽道とは、曆や方角の吉凶を判断する呪術の宗教体系で、これらの陰陽道書で、農作業や家建て・井戸掘りなどの吉凶を判断しました。

## ▽只見町のホウイン

山で修行してみずから神仏に近づくのが山伏(修験者)であり、その宗教を修験道といいます。山伏は、人々の身近な願いに応じるために、村里にも住みました。会津地方では、里に住む山伏(里修験)をホウイン(法印)と呼びました。ホウインは、修験道の宗教者として祈禱・占い・まじない・病氣治療などを行い、村人に手習いを教え、宗教者であるとともに、地域の文化人・知識人もありました。江戸時代の只見町域には六か院のホウインがありました。その住宅は農家の建物でしたが、奥の間には寺院の内部のような須弥壇があり、不動明王が祭られ、護摩祈禱が行われました。修験道は明治初期に廃止されましたが、只見町域では、ホウインの住宅が残され、不動尊の祭りが続けられました。そのため、櫛戸の龍蔵院・只見字新町の吉祥院では書物もそのまま保存されてきました。

## ▽里修験の蔵書調査

只見町史編さん事業によりホウインであった家の調査が行われ、龍蔵院(山崎行弘氏宅)と吉祥院(五十嵐英氏宅)の文書や書物が目録化されました。吉祥院については、『只見町史第1巻 通史編1』(平成十六年三月)に、「法印・吉祥院の蔵書」として記述されました。町史編さん事業が終了した後、平成十六年八月に龍蔵院に多量の書物があることがわかり、東洋大学講師久野俊彦氏・国立歴史民俗博物館准教授小池淳一氏が、龍蔵院・吉祥院の蔵書調査を開始しました。平成十八年には、国立歴史民俗博物館を中心とした共同研究の「唱導研究の比較研究班」が只見町を訪れ、龍蔵院・吉祥院の書物のうち、特に重要な十数点の写本を精査しました。その結果、それらは戦国時代の写本であると推測され、今後精密な調査にもとづいた確認作業が必要であることがわかりました。



▲只見町のホウイン宅から見つかった蔵書をもとに刊行された本

平成二十年には、龍蔵院の書物と文書・版木等が、山崎家から只見町に寄贈になりました。平成二十一年まで久野氏が龍蔵院の書物・文書の写真撮影と書誌学的調査を行い、平成二十二年三月に『修験龍蔵院聖教典籍文書類目録』として、国立歴史民俗博物館から発刊されました。また同時に、戦国時代の重要な写本である吉祥院本『籠篋傳』と龍蔵院本『陰陽雑書抜書』の二点は、全ページ写真版で出版されました(左写真)。

# 只見町のホウイン(法印)の 家に戦国時代の書物

## 只見・五十嵐 英氏 (旧吉祥院)



役に立って良かった。不動様のところに大切に保存しておいた。仕事を退職してから、目を通すようになつた。貴重な書物とは思っていたが、このように取り上げられ、嬉しく思う。

## 楢戸・山崎 行弘氏 (旧龍蔵院)



ずっと手をつけずにそのまま保存しておいて良かった。内容的に難しく、理解できない部分もあるが、時間があるとき目を通していい。このように世に出てありがたい。

## 久野 俊彦氏

(東洋大学講師)



今回発見された『陰陽雑書抜書』は、戦国時代の農村の田植えや種蒔きなどの農業をはじめ、生活行動の日の吉凶を教えてくれる書物です。これは現在の『暦本』(農事暦)に書かれている日の吉凶の源流になるものです。

龍蔵院の書物(聖教典籍)は、修験道・呪術・仏教・神道・陰陽道などの諸宗教・諸宗派にわたり、和歌・物語などの文学作品も含んでいます。その中の『伊勢物語註抜書』も戦国時代の写本であり、山間地に存在する写本として、文学史では驚くべき発見です。これらには確実に読まれた跡があります。村落で活動する修験者の宗教・文化活動を具体的に知ることができる重要な資料です。京都から遠く離れた山間地に、こうした優れた豊かな文化が根付いていたことは、日本の地方文化を見直すことになる大きな発見です。この書物が時代を越えて一括して伝存されてきたのは、修験者がこの書物を参照して活動していたからです。大切に残そうという強い意思を持っていた代々のホウインさまに敬意を表したいと思います。

## 小池 淳一氏

(国立歴史民俗博物館准教授)



この度のホウイン(法印)関係の文書や聖教類の調査では、中世にさかのぼる陰陽道や仏教の貴重な写本が数多く確認されました。このことは只見町域の代々のホウインたちの活動の幅の広さと伝統の厚さを示すものと言えます。

ホウインたちは、修験道はもちろん、陰陽道や仏教、神道などの書物や師匠から伝授された知識をさまざまな機会に村の人びとにも伝え、また村の人びともホウインを頼りに生活を営んでいたのでしょう。ホウインは明治初めの神仏分離によって、その姿を消してしまいましたが、かつては地域の知識人として活躍していたことがわかります。ホウインの活動は、現代でいうならば文化センターのような役割を果たしていたといえるでしょう。今回の史料群の整理と位置づけからは、奥会津の宗教文化の豊かさ一修験道や仏教に限らないさまざまな知識の展開の姿一が見えてきました。これらを貴重な文化財として総合的に後世に伝えていく必要があります。私たちも会津のホウインの調査をより広範囲にわたってさまざまな角度から継続していきたいと思っています。



▲成人証書を受け取る新成人

平成22年度

# 只見町成人式

成人証書を手に、  
喜びと感謝

平成22年度只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、成人者61名のうち58名が出席、新たな思いを胸に新成人としての第一歩を踏み出しました。

成人式では、目黒町長が式辞で「豊かな感性と柔軟な発想で未来を築いてください。只見に生まれ育ったことに誇りを持ち真に豊かな人生へと船出をしてください。これからの活躍に期待します」と述べました。続いて行われた成人証書授与では、目黒町長から新成人一人ひとりに成人証書が手渡されました。

来賓による祝辞では、五十嵐拓町議会議長が「元気・やる気・勇気を持って頑張ってください。実り多い人生を歩んでください」と述べ、角田定平町選挙管理委員長は「若者らしい正義感を持って、人と会話することを中心に、人生を歩んでください」と述べました。

先輩からのメッセージでは、SDLジャパン株式会社エンタープライズ本部日本支社に勤務する渡部和人さん(下福井出身)

が新成人に熱いメッセージを贈りました。

さらに、家族から贈られた成人を祝う手紙が手渡されると新成人からは笑顔がなくなり、真剣なまなざしで読みはじめ、目頭をおさえる姿も見られるなど、改めて家族の絆や今までの家族に対する感謝の気持ちで胸が熱くなっている様子でした。

最後に新成人を代表しての鈴木晃さん(只見)が「自然豊かで、温かく見守ってくれる人がいる、ふる里只見で成人式に出席でき嬉しい。この感動を忘れずに、精一杯頑張ります」と謝辞を述べました。

成人式が始まる前や終了後には、会場内や湯ら里の玄関前にたくさん話の輪ができ、友達同士で近況を伝えあったり、写真を撮り合ったりして、懐かしそうに盛り上がっていました。

また、今年から成人証書のデザインが一新され、証書の隣りに成人式当日に撮影された記念写真が貼り付けられるよう工夫されており、写真を受け取った新成人は、丁寧に貼り付けていました。

# 夢と希望・誓いを胸に未来へ羽ばたけ



はせがわ なおみ  
**長谷川 尚美さん（只見）**

大学で日本文学を学んでいます。文学を通して、只見の自然や魅力を伝えたいと思っています。

将来は、伊坂幸太郎さんのような作家になりたいです。

## 新成人からひんぽんぽん



たきざわ けん  
**滝沢 健さん（只見）**

成人にはなりたくなかったです。10代のままでいたかった。

今は製造業の仕事を一生懸命頑張りたいと思います。

今後の一番の目標は25歳までに結婚することです。



2



1



4



3

只見を誇りに思ってください。只見を大いにPRしてください。方言を忘れずに、コミュニケーションは方言を使いましょう。自分のために、自分がこれだと思ったことには、お金を使ってください。投資をしてください。いろんなことにトライして、どんどん悩んでください。その悩みを友達と共有して知恵を出し合ってください。伸びしろは20〜30歳です。何事にも一生懸命取り組んでください。只見を愛し、只見を広めていきましょう。

渡部和人さん（わたなべかずと）  
SDレジャパン株式会社  
エンタープライズ本部日本支社勤務



### 先輩からのメッセージ

- 1 祝・成人
- 2 家族に感謝
- 3 二十歳の喜び
- 4 鈴木晃さんの謝辞

# 新しいプールで最初の記録会

## 明和小学校水泳記録会



▲新しいプールで自己新記録を目指す児童



▲小プールでのビートバン競争

まっ黒に日焼けした児童は、新しいプールで、練習以上の華麗な泳ぎを披露していました。

プールサイドには大勢の保護者も詰めかけ、一生懸命ゴールに向かって泳ぐ児童を応援したり、写真やビデオに記録する姿が見られました。

夏の日差しに光り輝く新しいプールで行われた記録会には児童66名が参加、自己記録の更新目指し、力いっぱい水しぶきを上げていました。

プールサイドには大勢の保護者も詰めかけ、一生懸命ゴールに向かって泳ぐ児童を応援したり、写真やビデオに記録する姿が見られました。

気温30度を上回る真夏の青空が広がった9月1日、明和小学校の水泳記録会が行われました。



明和小学校プール平面図

インタビュー



梁取 陸くん(6年)

### ▶新しいプールの印象は？

25m先まで良く見えて、とても泳ぎやすいです。特に、50m平泳ぎで自己ベストのタイムが出せたので嬉しいです。あと、温水シャワーがいいと思います。

## 町民の意見や要望を町政に… 第1回町政懇談会

平成22年度第1回の町政懇談会が、8月23日は朝日地区センターで、24日は只見地区センターで、27日は明和地区センターで開かれました。

はじめに、目黒町長が「各地区の課題解決に向け、皆さんの色々な意見を伺う場です。同時に地域の方々との信頼関係を築く場でもあり、重要な会議です。皆さんの意見や要望を町政に活かしていきたいと考えます」とあいさつを述べ、続いて各地区センター運営委員会長のあいさつがあり、町職員自己紹介のあと、懇談に移りました。

懇談では、渡部勇夫総務企画課長が、平成22年度の町予算の概要と、主要事業や補正予算の内容について説明し、意見交換を行いました。

出席された町民からは、猿の被害対策や、八十里越（国道289号）道路工事の進捗状況、コミュニケーションビ



▲只見地区センターでの懇談会

ジネス事業、県道や町道の改良事業、少子高齢化・若者定住対策、旧只見中学校の利活用、木材資源の有効活用、農業集落排水使用料の改定、農家民泊事業、旧明和小体育館の再利用、地方交付税や固定資産税の見直しなどについて、質問や意見が出されました。

現在取り組んでいる事業は継続し、新たに取り組まなければならぬ事業は今後検討し可能なものから実施していくことを確認し、懇談会は終了しました。

## 地元大工・工務店などを活性化 地元大工・工務店等の活性化に関する調査研究会

8月27日に第1回地元大工・工務店等の活性化に関する調査研究会が朝日地区センターで行われました。

この事業は、福島県の大学等の知の活用による地域支援事業の採択を受け実施されるもので、委託された超学際的研究機構（福島市）が事業を進めます。

同研究会は、郡山女子大学や北海道工業大学の教授や准教授をはじめ、地元の建設・建築業者、南会津建設事務所、只見町などがメンバーで、今後、町内

の世帯を対象にアンケートやヒアリング調査を行い、除雪の負担が軽減される住宅構造などを調査研究し、その結果から町の住宅建設には何が必要かを整理検討、活性化対策を考えていきます。

さらに、町民を対象とした住宅に関する勉強会なども行い地元木材の有効利用について理解を求める活動も展開していきます。

## 福島県身体障がい者福祉協会 南会津支部スポーツ教室

8月27日に只見地区センターで福島県身体障がい者福祉協会南会津支部が主催するスポーツ教室が開かれ、只見町から21名、南会津町から20名、下郷町から12名が参加しました。

目黒町長は、「一生懸命に体を動かし、汗を流し、交流を深めてください。優勝目指し頑張ってください。優勝目指し頑張ってください」と祝辞を述べました。

その後、小沼征子さん（黒谷）の選手宣誓により、競技がスタートしました。選手は、輪投げ競争やジャンケンリレー、紅白玉入れなど、全7種目で優勝を競いました。



▲表彰状を手にする馬場マリ子さん

また、南会津支部長表彰の表彰式も同会場で行われました。只見町の表彰者は次のとおりです。

▽自立更生表彰：馬場マリ子さん（蒲生）  
▽感謝状：五十嵐平一さん（福井）、佐藤康女さん（大倉



▲今後の活動計画などを協議した研究会

長岡市民が長岡藩士の墓を墓参

8月16日、塩沢で河井継之助墓前祭が行われ、長岡の河井継之助記念館友の会37名が参加しました。その帰路、一行は只見字宮前の墓地にある長岡藩士・石垣龍三郎の墓をお参りされました。石垣龍三郎は、今から142年前の戊辰戦争の折、只見で亡くなられた長岡藩士です。現在、田中の目黒竹市さんがその墓を守り続けています。竹市さんによると、どのような経過



▲長岡市民を前に説明する目黒竹市さん

かわからないが3代前の先祖からずっと受け継いでいるとのこと。おそらく、明治初期に石垣家の関係者が龍三郎の墓を建て、目黒家に依頼されたものではないかと思われます。墓参した長岡市の方々からは、いまでも大切に守られている墓を目の当たりにし、只見と長岡の深いつながりに思いを新たにされたようです。

正しい交通ルールやマナーを身につけよう  
平成22年度交通少年団研修会



▲機動隊員から県警ヘリの説明を受ける交通少年団員と保護者

第39回  
只見ふるさとの雪まつり  
第1回企画実行委員会



▲あいさつをする目黒町長

8月27日、只見町役場3階会議室で、第39回只見ふるさとの雪まつり第1回企画実行委員会が開かれました。

実行委員長の目黒町長は、あいさつで「早めのスタートをして、地域に愛されるまつりにしていきたい」と述べました。

出席委員は、事務局から昨年のおまつりの実施報告を受け、「町民みんなが楽しめるまつりにしたい」など、活発に意見交換を行いました。

まつりは平成23年2月12日(土)、13日(日)に行われます。

南会津地区交通安全協会が主催する平成22年度交通少年団研修会が8月3日に、福島市の福島県警察本部交通部交通機動隊で行われ、只見町交通少年団員6名(只見小学校5年生)が参加しました。

研修では、機動隊員による白バイやパトカーの操作説明を聞いた。さらに、体験試乗が行われました。さらに、県警ヘリコプターの説明も受け、操縦席などを見学した交通少年団員は笑顔を見せながらも緊張した様子でした。

また、シートベルトを着用しての低速衝突時の衝撃も体験した交通少年団員は、交通安全の大切さを再認識し、研修を終えました。



# 新しい英語指導助手に アンナ・ジョージさん

▼Anna・George (23歳)  
アンナ・ジョージ

- ・1987年生まれ。
- ・英国ノーフォーク出身。
- ・2010年8月から只見町英語指導助手。
- ・小学校と中学校で語学の指導を行います。



只見町の皆様、はじめまして。私の名前はアンナ・ジョージと申します。アンナと呼んでください。日本語を4年間勉強していました。今も日本のマンガなどで日本語を勉強しています。

私は英国グレートヤマースという町からやって来ました。グレートヤマースは、ノーフォーク州にあり人口は約5万人です。ノーフォーク州は英国内でも美しい景観の地域で、特に「ノーフォークブローズ」という広域に渡って流れる大きな川があることで有名で、他にも人工の池や水路などが知られています。またノーフォーク州は、豪華な歴史ある館が点在することや、海岸線の美しさとそれらを楽しめる海岸沿いの町が多いことでも知られています。

大変平らな土地で、この只見で山々に囲まれての生活をとても楽しみにしています。

私の趣味は、料理やフラフープなどです。イラストを描くのが得意でイラストレーターの仕事もやったことがあります。日本にいる間に文化への理解を深めるため、また日本の人びとと会話ができるように日本語を学びたいと思っています。また伝統的な日本料理も勉強したいと思っています。

只見の冬は、雪が多いと聞いていますので、スノーボードをやりたいです。雪まつりも楽しみにしています。その他の文化的な活動にも参加してみたいと考えています。よろしくお願ひいたします。

## リアルに再現した木工細工 バードカービング展

8月20日～22日の三日間、「バードカービング展」が、ただみ・ブナと川のミュージアムで開かれました。バードカービングとは、野鳥の姿を本物と見間違うほどリアルに再現した木工細工のことです。日本には1979年に紹介され、自然が好きな人たちの趣味や、博物館などで展示する剥製（はくせい）の代わりとして広まりました。

本展では、バードカービング作家の遠藤勇さん（神奈川県在住）の作品を25点ほど展示。ヤマセミやカワセミ、アカシヨールビンなど只見でおなじみの野鳥のほか、割り箸で制作した色とりどりのカミキリムシなど、ユニークなアート作品も並びまし

た。  
当日は、バードカービング教室が行われ、15人がスズメやキセキレイづくりなどに挑戦しました。主催は、只見の自然に学ぶ会。共催は、只見町ブナセンターです。



▲バードカービング展の様子

## 平成22年度 献血団体表彰

日本赤十字社福島県支部長  
銀粹感謝状

Jパワーグループ  
(電源開発株式会社田子倉  
電力所・JPハイテック)



▼前田剣豪会の皆さんが墓前で剣舞を披露



## 没 河井継之助墓前祭 後142年に遺徳を偲ぶ

没後142年の命日にあたる8月16日、塩沢の医王寺で河井継之助墓前祭が執り行われました。主催者の塩沢観光協会長岩渕正明さんが「皆様のご支援をお願いし、これからも墓前祭を続け、全国に広めたいと思います」とあいさつを述べました。長岡市にある妙園寺住職の内山慶法さんによる読経に続き、目黒町長の追悼の言葉と下田邦夫長岡記念館友の会会長のあいさつがあり、参列者の焼香の後、長岡市の前田剣豪会の皆さんによる剣舞が披露されました。

## 黒 かじっか計画推進事業 谷川の景観をきれいに

黒谷地区のかじっか計画推進委員会（山中美明会長）では、黒谷川の美化を目的に河川にある流木を集め積み重ねて「おんべ」のようにし、点火するイベントを8月8日に黒谷川あまぶち周辺で行いました。20名の参加者が7カ所に流



▲流木の「おんべ」に点火する参加者

木を積み重ね、次々に点火すると、火は勢いよく燃え上がり真夏の「おんべ」となりました。辺りもきれいになり参加者からは、「やって良かった」の声が聞かれました。



## 昔 福祉の里盆踊り大会 の盆踊り懐かしく、笑顔の輪が幾重にも



▲お囃子にあわせ、にぎやかに踊る参加者

8月19日、長浜の福祉の里で盆踊り大会が行われました。こぶし苑、あさひヶ丘、只見ホームに入所している人たちやそのご家族、町内の各種団体や、各施設の職員、町民の方々が参加して、幾重にも踊りの輪をつくり旧盆踊りや会津磐梯山を踊り楽しみました。お囃子は明和青年団の皆さんと朝日地区老人クラブの皆さんが担当されました。踊りには仮装行列が出るなど盛り上がり、入所者の皆さんもご家族や町民の方々とお話をしながら、心待ちにしていた盆踊りを満喫しました。今年は第10回を記念し来場者に、うちわがプレゼントされました。



記念うちわ

## 月 星空観察会 のクレーターも見えた！

8月20日、会津只見考古館で星空観察会が開かれ、大人28名、子ども14名が参加しました。講師は大倉出身の永井秀男さん、星や太陽系について講話いただき、外に出て望遠鏡をのぞき込んだ参加者は、夏の星座や月のクレーターを確認していました。この夜は、天候も良好で星は輝き月はとても明るく見え、参加者からは感動の声も聞こえてきました。



▲夏の夜空を見上げ星を観察する参加者

## 懐 明和地区お盆野球大会 かしい顔ぶれでプレー、爽快な汗

8月16日、明和地区恒例のお盆帰省者歓迎野球大会が盛大に行われました。

明和全集落から7チームが参加、明和小グラウンドと、大倉つつじヶ丘グラウンドを会場に熱戦に継ぐ熱戦が繰り広げられました。優勝は布沢チームで準優勝は大倉チームでした。気温も30度を超える夏空のもと、パワーあふれるプレーと応援の声で盛り上がりを見せた一日となりました。



▲親睦が深まった年に一度の野球大会

## 夏 お寺に泊まろう 休みに楽しい思い出づくり



▲紙粘土でオリジナルの仏様づくり

明和地区センター運営委員会生涯学習部の主催で夏休み特別企画イベント「お寺に泊まろう」が梁取の成法寺で8月3日から4日の二日間行われ、明和小学校の3年生6名が参加しました。はじめに成法寺の説明を聞いた児童は、早速お寺内の掃除や周辺の草むしりで汗を流し、紙粘土で仏様などを作りました。夕食もみんなで調理し、おいしく食べた後は、座禅体験や映画を鑑賞し楽しく過ごしました。

## お コアラクラブ 父さんお母さんと遊ぼう！



▲お父さんお母さんと楽しいひととき

コアラクラブでは、8月28日に明和保育所で「お父さんお母さんと遊ぼう・自由遊び」を行いました。参加者は親子20組で47名、ホールで遊んだり、外で砂遊びや遊具を使って遊んだり、思い思いにお父さんお母さんと楽しそうに触れ合っていました。この日も暑い日でしたが、参加した親子は笑顔で、有意義な時間を過ごしていました。

# こんにちは！ 保健師です

## かかる前に、 予防しましょう！

保健師 堀金 俊也



今年の8月10日にWHOは新型コロナウイルスエンザの世界的大流行の終息を宣言しました。しかし、新型コロナウイルスは予測不能で、いつまた新しいインフルエンザが発生するかわからないとして、引き続き警戒するよう呼びかけました。これから冬になるにつれて、空気が乾燥しやすくなります。空気が乾燥すると、インフルエンザにかかりやすくなります。これは、ウイルスや細菌が体の中に入ろうとするのを防ぐ、のどや鼻の粘膜の防御機能が低下するためです。

インフルエンザは、かかった人の咳、くしゃみ、つばなどが飛び散ることで放出されたウイルスを、のどや鼻から吸い込むことによって感染します。また、感染している人のつばや鼻水が手から手へ、あるいはドアノブやつり革などを介して手に付着することからも感染します。

インフルエンザは感染しやすいため、かかった人が無理をして仕事や学校等へ行くと、急速に感染を広げてしまうことになりやすくなります。突然現れる高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛など強い全身の症状がある場合には、早めの医療機関受診をお勧めします。

### 今からはじめられる インフルエンザ予防

- ①正しい衛生習慣を身につけましょう。
- 外出後などは、手洗い・うがいを行いましょう
- 手洗いは、石けんで30秒以上洗い、流水で流しましょう

- ②熱や咳、くしゃみ等があるときは、マスクを着用しましょう。

他の人への感染を防ぐことが出来ます。日頃から、マスクを着用することは感染 予防に効果的です。

### ③咳エチケット

マスクをしていない時、咳・くしゃみをする時は、ティッシュで口と鼻を覆いましょう。そのティッシュは、ゴミ箱に捨ててください。その後はよく手を洗いましょう。

- せき・くしゃみの症状がある時は、マスクをしましょう
- せき・くしゃみをする時は、口と鼻をティッシュで覆いましょう
- せき・くしゃみをする時は、周りの人から顔をそむけましょう



### インフルエンザ 流行に備えて

- ①インフルエンザ流行前にインフルエンザワクチンの接種を受けましょう。
- ワクチン接種による免疫の持続期間はおよそ5カ月間といわれています。

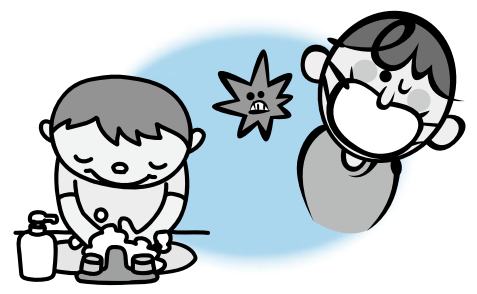
### ②インフルエンザが流行したら

- 人込みや繁華街への外出を控えましょう
- 外出時にはマスクを着用しましょう
- 室内では加湿器などを使用して適度な湿度(50~60%)にしましょう
- 十分な栄養、バランスの良い食事を摂りましょう
- うがい、手洗いを十分にしましょう

### ③インフルエンザにかかったら

- 早めに受診しましょう
- 安静と休息を十分にとりましょう
- 水分を十分に摂りましょう
- マスクを着用しましょう
- 外出は控えましょう
- 薬は用法、用量、期間を守りましょう

「自分は大丈夫」と思わないで、  
早めの予防対策を心がけましょう。



# 広報ただみ診療所

朝日診療所

医師

高柳

宏史

## 「家族に認知症の患者さんを持つ方へ」

暑い夏でしたが、皆さまはいかがお過ごしでしたか？

さて、今回は認知症の家族へのメッセージを書こうと思います。只見には多くの認知症の患者さんがいらっしゃいます。若松などやその他の地域でいわゆる専門外来を受診された方でも、家族がどのように認知症にかかった家族と接するかについて話を受ける機会には少ないようです。認知症は残念ながら現在のところ不治の病です。しかし、統計上、年齢が90歳に達した方で約3割が認知症なのです。「老化」が加齢に伴う全身の臓器機能の低下とも言えることを考えると、認知症は脳の老化であり、ヒトという生物である以上自然の変化なのかもしれません。

しかし、自然であるとか、

病気であるとかそう思っても割り切れない気持ちもわかりますし、24時間向き合うとイライラしたり、時には喧嘩になってしまいます。家族なのだから、そういうことも仕方ないとも思います。

だけでも、認知症により記憶力は低下し、いろんな事もできなくなるわけですが、感情や自尊心は長く残っていることも特徴なのです。例えば朝ごはんを食べた後に「朝ごはんまだか」と言ったら朝ごはんを食べていないという事は明らかに間違いなのですが、それを訂正することは非常に難しいのです。そして、それを頭ごなしに「さつき朝ごはん食べななでしよう」と言われると、感情や自尊心を傷つけてしまいます。

きつと、朝ごはんの事は

忘れてしまいますが、その時にうけた自尊心を傷つけられたことや、気分を損ねたことは認知症の方の中でも「残って」おり、そういったストレスが認知症の進行を進めてしまうという事もわかっています。

もしも、間違った言動がある場合は、時間を空けたら、話題を変えたり、柔らかな対応してください。少し間が空くと間違った言動も忘れてしまうのも認知症のいいところですよ。

最後に、公益社団法人「認知症の人と家族の会」が提供する電話相談窓口を紹介します。

☎0120-294-456

(月)金、午前10時～午後3時)もちろん、診療所や在宅介護支援センターなどでも相談に乗りますので、家族で抱えすぎずに気軽に相談してください。



# 今年こそは初戦突破！ 市町村対抗野球只見チーム始動！



第4回市町村対抗福島県軟式野球大会に出場する只見町チームが「初戦突破」を目指し、練習に汗を流しています。過去3回の大会はいずれも初戦で敗退。今年こそは、初戦突破を！とチーム一丸となって練習に励んでいます。

手3名を加えた20名で結成。練習は毎週水曜日午後7時から町下グラウンドで気合を入れ行なっています。

先日、組み合わせも決まり、只見町チームの初戦は9月26日(日)午前9時45分から福島市あづま球場で二本松市と対戦します。

町民の皆さんの熱い声援をお願いします。



には「古く」て形式的には「新しい」博物館のさまざまな可能性を探るプロジェクトでした。

このなかでとくに私が取り組んだ【自然と暮らし】コーナーの構想は、2007年の春ころ、只見町教育委員会にある民具カードのスキヤン作業をしていた時に生まれました。民具カードや映像・写真といったさまざまな資料を、どうしたら一つの「展示空間」において統合的かつ効果的に公開できるかという課題はプロジェクトが始まって以来ずっと考えていたのですが、満足できる方法を見つけられずにいました。そんな折、教育委員会にあった「作業工程表」のフォルダーと出会ったのです。「作業工程表」とは、稲作や焼畑・狩猟・漁撈など17種類の生業の作業手順を一年間のサイクルを通して解説したものです。これは横山哲夫さんが執筆された工程表を土台にして、明和の民俗を語る会や只見町民具と語る会の方々が加筆して完成した労作で、只見町の住民たち自身が記した貴重な記録資料といえます。8000点におよぶ一般民

具カードと2333点の国指定重要有形民俗文化財の民具カードと並んで、たいせつな「一次資料」であり、補足的な資料でもあります。わたしは、この有効性に気づいて、一つの糸口を掴んだという思いでした。

「作業工程表」が【自然と暮らし】コーナーにふさわしいと思った理由は、いくつかあります。まず、補足的資料としての重要性と、只見町の住民たちによって記録された「一次資料」としての貴重性が挙げられます。しかし、それよりも、ウェブサイトを構築に困っていたわたしたちには、「作業工程表」の採用によってすべての資料を時間軸に整理できるという大きな有効性もとても大切でした。とくに多数の民具カードの閲覧の面倒さを回避できる一つの方法として看做したのです。

このようにいろいろと模索したあげく、只見町の住民たちの手で作成された「作業工程表」は、【自然と暮らし】コーナーの「大黒柱」となりました。さらに時間軸を明確にするために四季ごとに分けた四つの基本画



▲作業工程表ファイルと民具カード

面を設け、あらゆる種類の資料データを閲覧できるように仕組みをつくりました。「作業工程表」の文章には必要に応じて多少手を加えましたが、できるだけ原文を残すように努力しました。コーナーの構築は「作業工程表」の再構成に手間取ってしまい大幅に遅れましたが、ようやく2010年3月末その完成を見ることができました。

横山哲夫さんには、細かい情報を教えていただき、たいへんなお世話をおかけしましたが、その他にも一度もお会いしたことはない多くの執筆者の方々に言葉で表せないほどのご恩をいただいた気がいたします。



▲横山哲夫さん（左）と筆者（右）

「只見町インターネット・エコミュージアム」(Internet Tadami Eco-Museum、略してITEM)アイテム)のウェブサイトを構築計画は、只見町の民具を中心にしてその地域の物質文化と非物質文化を総合的にインターネット上で公開するため、2003年度から神奈川大学COEプログラム第4班・地域統合情報発信班が担当することになりました。このチームは、委託業者であるコンテンツ株式会社ウェブ上の技術的作業を委託した上で、インターネット・エコミュージアムに揭示するべき資料の選択・デジタル化・整理を行い、提示方法を考察してきました。只見町の立場、民俗文化の領域においてインターネット・コンテンツの先端技術を開発したコンテンツ株式会社(立場、神奈川大学COEプログラム第4班の教授や研究協力者の立場という三つの相補的な視点の協力の下、インターネット・エコミュージアムという内容的

には「古く」て形式的には「新しい」博物館のさまざまな可能性を探るプロジェクトでした。

このなかでとくに私が取り組んだ【自然と暮らし】コーナーの構想は、2007年の春ころ、只見町教育委員会にある民具カードのスキヤン作業をしていた時に生まれました。民具カードや映像・写真といったさまざまな資料を、どうしたら一つの「展示空間」において統合的かつ効果的に公開できるかという課題はプロジェクトが始まって以来ずっと考えていたのですが、満足できる方法を見つけられずにいました。そんな折、教育委員会にあった「作業工程表」のフォルダーと出会ったのです。「作業工程表」とは、稲作や焼畑・狩猟・漁撈など17種類の生業の作業手順を一年間のサイクルを通して解説したものです。これは横山哲夫さんが執筆された工程表を土台にして、明和の民俗を語る会や只見町民具と語る会の方々が加筆して完成した労作で、只見町の住民たち自身が記した貴重な記録資料といえます。8000点におよぶ一般民

面を設け、あらゆる種類の資料データを閲覧できるように仕組みをつくりました。「作業工程表」の文章には必要に応じて多少手を加えましたが、できるだけ原文を残すように努力しました。コーナーの構築は「作業工程表」の再構成に手間取ってしまい大幅に遅れましたが、ようやく2010年3月末その完成を見ることができました。

# 町民文芸



## 只見短歌会

七月詠草

大塚栄一 指導

頭にて逆道辿れば忘れぬし歌思ひ出す不思議に出合ふ  
五十嵐 夏美

帰り来る家族ねぎらひ玄関に打ちゆく水はたちまち乾く  
古川 英子

若く逝きし子が好みたる紫陽花を思ひて再度花供へたり  
吉津 政枝

埼玉に住む甥が来て尺八を聞かせてくれぬこぶし苑にて  
五十嵐 英子

振り向けば通りすがりの男らが菅笠かむる我を撮りるる  
目黒 富子

降り続く梅雨を厭ふも被害なくむごき被災地のテレビに見入る  
渡部 ゆき子

子も孫も着る当てもなき紬にて炬燵布団を幾枚も縫ふ  
齊藤 ちひろ

こちち良き風に吹かれて布団干す雲ひとつなき梅雨の晴れ間に  
馬場 八智

春の香を懐かしみ摘む山椒のするどき刺は我が手にささる  
渡部 ヨリ子

右左確認もせず道よぎる老人の耳は聞こえぬらしき  
新国 洋子

施設より外泊に来て川べりの夏の花火に姉は声あぐ  
新国 洋子

(出詠順)

## 只見俳句会

八月例会

目黒十一 指導

割って入る絵ろうそく屋の夏のれん  
笑 羊

千個の灯生む火起師の上布かな  
リウコ

木苺を刈り残しおく墓掃除  
草刈につかれ一夜の眠られず  
敦子

梅雨明けや赤い衣の六地藏  
梅漬ける一年の無事念じつつ  
礼

新じゃがの次も次もと掘る日中  
結葉や浅草岳を遙かにす  
修一

豆植うる畑空かせぬ母なりし  
茄子抱かい夕暮れ時の立ち話  
一灯

山法師下向く花はなかりけり  
庭の蛇隣の嫁に黙っとこ  
邦男

縄文の土器の復元雲の峰  
キュウリもむ味噌の香りのする夕べ

風を切る旗指物や御野馬追  
子供歌舞伎のカツラ下地に汗にじみ  
吉児 隆堂

勘高き主将の指示や青あらし  
扇風機いらぬ我が家の午睡かな  
邦夫

散歩径変えてみれば道おしい  
風鈴の音も引越す駐在所  
康女

夕暮れやほたる袋に灯の欲しき  
大き夢吊られ七夕竹たわむ  
恒夫

足音に寄る大岩魚飼われおり  
原爆忌みんな秣を刈りおりし

原爆忌みんな秣を刈りおりし

原爆忌みんな秣を刈りおりし

原爆忌みんな秣を刈りおりし

原爆忌みんな秣を刈りおりし

原爆忌みんな秣を刈りおりし

原爆忌みんな秣を刈りおりし



# 今月のお知らせ

## RECRUITMENT

### 募集

#### 南会津会職員

#### 採用候補者試験

特別養護老人ホーム、介護老人保健施設等を運営する社会福祉法人南会津会では、次により職員採用候補者試験をおこないます。

#### 一、採用予定職種及び採用予定人員

- ◎介護職員 若干名
- ◎事務職員 若干名

#### 二、採用予定年月日

平成23年4月1日

#### 三、受験資格

年齢・学歴は問いませんが、次の各項目に該当することを必要とします。

## 電話番号

総務企画課	
総務班	☎ 82-5050
	☎ 82-5210
企画班	☎ 82-5220
町民生活課	
税務班	☎ 82-5110
町民班	☎ 82-5100
保健福祉課	
保健班	☎ 84-7005
福祉班	☎ 84-7010
産業振興課	
農林班	☎ 82-5230
交流推進班	☎ 82-5240
環境整備課	
地域整備班	☎ 82-5270
生活環境班	☎ 82-5280
会計室	☎ 82-5120
議会事務局	☎ 82-5300
農業委員会	☎ 82-5230
教育委員会	☎ 82-5320
学校給食センター	☎ 84-7180
只見保育所	☎ 82-2219
朝日保育所	☎ 84-2038
明和保育所	☎ 86-2249
朝日診療所 (歯科)	☎ 84-2221
訪問看護ステーション	☎ 84-2612
	☎ 84-2130
こぶし苑	☎ 84-2101
保健福祉センター	☎ 84-7005
只見地区センター	☎ 82-2141
朝日地区センター	☎ 84-2111
明和地区センター	☎ 86-2111

#### ①南会津郡内に住所を有し、又は採用後南会津郡内に居住することが確実な者

#### ②普通自動車一種免許取得者又は平成23年3月31日までに取得見込みの者

#### ③次の資格を有する者

ア、介護職員は、介護福祉士(介護福祉士養成施設を平成23年3月までに卒業する資格取得見込み者を含む)、社会福祉士、介護支援専門員、看護師のいずれかの資格取得者イ、事務職員は、特に資格要件はありません

※ただし、次の各号のいずれかに該当する者は受験できません。

- ①日本の国籍を有しない者
- ②禁固以上の刑に処せられた者

#### 四、試験の方法

##### ①第一次試験

ア、一般教養試験(高等学校卒業程度)

#### ②第二次試験(第一次試験合格者のみ)

ア、論文試験  
イ、面接試験

#### 五、試験の日時及び場所

##### ①第一次試験

ア、日時 平成22年10月24日(日)午前10時30分(受付は10時から)  
イ、場所 南会津町田島あたご館(旧田島町中央公民館)3階 研修室  
(南会津郡南会津町田島字後原甲3586・1)

##### ②第二次試験(第一次試験合格者のみ)

ア、期日 平成22年11月21日(日)  
イ、場所 南会津町田島あたご館(旧田島町中央公民館)3階 研修室

#### 六、試験結果の発表

第一次試験の結果について

は、11月上旬に本人に通知します。

#### 七、受験手続及び受付期間等

##### ①申込用紙の交付及び請求

申込用紙は、当法人の施設等で交付します。なお、郵便により申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「試験申込用紙請求」と朱書きし、返信用の120円切手を同封し、返信先の住所等を明記のうえ、社会福祉法人南会津会本部事務局に送付してください。

##### ②申込用紙の提出

申込用紙に必要事項を記入し、最近6ヵ月以内に撮影した本人の写真(上半身、脱帽、正面向、縦4cm×横3cm)を写真欄に貼って、社会福祉法人南会津会本部事務局(特別養護老人ホーム田島ホーム内)に提出してください。

##### ③免許証等(写し)の添付

## 税 今月の納期

- 9月27日までに納めましょう
- 国民健康保険税(3期)
- 水道使用料(2期)
- 農集排使用料(9月分)
- 介護保険料(3期)
- 後期高齢者医療保険料(2期)

受験資格を確認するため、受験申込用紙に資格を証する免許証等の写しを添付してください。なお、介護福祉士養成施設卒業見込者は、養成施設の長が証明する卒業見込証を添付してください。

##### ④申込受付期間

受付期間は、平成22年9月6日(月)から平成22年10月8日(金)までです。(執務時間中に限ります)なお、郵便による申込用紙提出は、平成22年10月6日(水)までの消印のあるもの限り受け付けます。

#### ▼問い合わせ

この試験の詳細については、次にお問い合わせください。  
社会福祉法人南会津会本部事務局(特別養護老人ホーム田島ホーム内)  
南会津町永田字風下3・1  
☎0241-63-1111



# 献血にご協力ください



次の日程で献血を行いますので、皆様のご協力をお願いいたします。

実施日	献血時間	献血場所等		備考
		事業所等	所在地	
9月28日 (火)	10:30～12:30	電源開発(株) 田子倉電力所	只見字新屋敷 1604	
	14:00～16:00	TNI工業(株)	楢戸字椿 59-1	
	16:30～18:00	只見高等学校	只見字根岸 2358	
9月29日 (水)	8:30～10:30	只見町役場	只見字雨堤 1039-1	骨髄バンク ドナー登録会併設
	11:00～13:00	介護老人保健施設 こぶし苑	長浜字唱平 31	
	14:30～16:30	会津工場(株)	二軒在家字九々生 721-1	

## 骨髄バンクドナー登録のお願い

血液のガンとさへ言われている白血病や再生不良性貧血等が、現在は骨髄移植によって、かけがえのない命を救うことができるまでになりました。

骨髄移植を必要とする患者さんは、毎年少なくとも二千人程度おられます。

少しでも多くの患者さんを救うためには、ひとりでも多くのドナー登録が必要です。ドナーを待つ患者さんにとっては、皆さんの登録が大きな希望になります。

献血時に併せて次のとおり骨髄バンクドナー登録を行なって

## 町長室日誌

〈 8 月 分 〉

- 1日 国道289号フルコース踏破参加者応援のため三条市へ
- 2日 国道289号線建設期成同盟会正副会長会議、電源開発(株)本社訪問
- 3日 会津総合開発協議会福島県要望活動
- 4日 南会津会評議員会・理事会、南会津地方広域市町村圏組合第3回管理者会
- 5日 国道252号雪国ゆめ街道同盟会の福島県側要望
- 6日 国道289号線建設期成同盟会新潟県内要望会
- 7日 沼沢湖水まつり
- 9日 朝礼、定例庁議、南会津地方広域市町村圏組合第4回管理者会
- 10日 南会津地方振興局長来庁、両沼管内町村長・只見川電源流域町村長情報交換会
- 11日 只見・金山・昭和県道改修促進期成同盟会役員会、同総会
- 15日 平成22年度只見町成人式
- 16日 河井継之助墓前祭
- 19日 国立歴史博物館来庁、福祉の里盆踊り
- 20日 農業委員会委員(推薦)辞令交付
- 23日 献血団体並びに献血推進団体銀棒感謝状伝達式、西部環境衛生処理組合管理者会、西部環境衛生処理組合議会定例会、町政懇談会(朝日地区センター)
- 24日 日本赤十字福島県支部事務局長、就任あいさつのため来庁、予算査定、町政懇談会(只見地区センター)
- 25日 国道289号線建設期成同盟会事業説明会・総会・中央要望会
- 26日 只見高等学校振興対策会議役員会
- 27日 庁議、第27回福島県身体障がい者福祉協会南会津支部スポーツ教室、郡山自衛隊小西則行第3隊長、就任あいさつに来庁、第39回只見ふるさとの雪まつり企画実行委員会、政策調整会議、町政懇談会(明和地区センター)
- 30日 南会津地方広域市町村圏組合議会第2回定例会、同全員協議会
- 31日 小沼昇氏叙勲祝賀会発起人打合せ会、新規招致外国語指導助手(ALT)歓迎会

登録のお願い

血液のガンとさへ言われている

白血病や再生不良性貧血等が、現在は骨髄移植によって、かけがえのない命を救うことができるまでになりました。

骨髄移植を必要とする患者さんは、毎年少なくとも二千人程度おられます。

少しでも多くの患者さんを救うためには、ひとりでも多くのドナー登録が必要です。ドナーを待つ患者さんにとっては、皆さんの登録が大きな希望になります。

献血時に併せて次のとおり骨髄バンクドナー登録を行なって

おりますので、ご協力をお願いします。

▼とき 9月29日(水)  
8時30分～10時30分

▼ところ 只見町役場前

この夏も会場へ2010年イベント

## あいづスイーツ & カフェ

極上の

私の中にひろがる、極上の会津。

2010 9-18(土)

①10:30～12:00  
～セミナー～  
②13:00～14:30  
③15:30～17:00

販売ブースでのご購入もどうぞ。

スイーツ2品 + ドリンク1杯付

◆会津若松ワシントンホテル2階 双鏡  
◆入場料:8～12歳 1,000円/回

### チケットの入手方法

**会津若松ワシントンホテル**  
取扱い時間/9:30～21:00  
☎0242-22-6130 Fax.0242-32-6110  
〒965-0024福島県会津若松市白虎町201  
e-mail:banquet@aizu-wh.com

---

**極上の会津プロジェクト協議会事務局**  
取扱い時間/平日9:00～17:00(会津若松市観光課内)  
☎0242-39-1251 Fax.0242-39-1433  
〒965-8601福島県会津若松市東栗町3-46

極上の会津

# 国勢調査を開始します

調査員が世帯を訪問して調査票を配布します

● 国勢調査は、平成二十二年十月一日現在、日本に住んでいるすべての人及び世帯が対象です。九月下旬から調査員が調査票の配布回収などのためすべてのお宅を訪問します。

● 平成二十二年国勢調査は、我が国が本格的な人口減少社会となって実施する最初の国勢調査で、日本の未来を考えるために欠くことのできない最新の人口・世帯の実態を明らかにする重要な調査です。

● 調査結果は、さまざまな法令で使われるほか、社会福祉、雇用対策、生活環境の整備など、私たちの暮らしのために役立てられます。

● 統計法では、調査対象者に対し、調査票に記入して提出する義務（報告義務）を定めています。あなたの世帯の世帯員を漏れなく記入してください。

● 調査票に記入していただいた内容は、統計の作成に関連する目的以外に使用することはありません。

● 記入いただいた調査票は、封筒に入れて封をした上で調査員に渡していただくか、市区町村に郵送で提出していただきます。

ご理解とご協力をお願いします。

調査についてのお問い合わせは、  
コールセンターまで!!



## ■国勢調査コールセンター

設置期間：平成22年10月31日まで  
受付時間：午前8時～午後9時まで  
(土・日・祝日も利用できます)

【電話】 0570-01-2010

\* 全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。

【PHS・一部のIP電話】 03-6738-6677

\* PHS・一部のIP電話の場合、所定の料金となります。

# 町民の消息

(8月1日～8月31日届出分・敬称略)

## ■お誕生おめでとうございます。

山内 珠樹(男/政邦・裕子) 梁取  
五十嵐 雄哉(男/貴則・未生) 蒲生

## ■おくやみ申し上げます

飯塚 ツネ子	73才	大倉	倉
五十嵐 欣也	77才	蒲生	生
長谷部 ヒサエ	91才	叶津	津
目黒 廣喜	90才	坂田	田
飯塚 晃	73才	大倉	倉
近藤 啓次	81才	布沢	沢
目黒 キヌ子	69才	石伏	伏

※「町民の消息」欄に掲載を希望されない方は、届出のときにその旨をお伝えください。

# 人のうごき

平成22年8月1日現在

人口	4, 943 (-5)
男	2, 354 (+1)
女	2, 589 (-6)
世帯数	1, 877 (+2)
高齢化率	41.5%

※高齢化率とは、65歳以上の人が人口に占める割合です。

転入 14 転出 17 出生 3 死亡 5

▽稲穂も重みを増し、どの田んぼもい感じに下を向いています。今年も豊作の予感がします。▽五穀豊穣や豊作などを祈願し、9月5日には町内各集落でお祭りが行われ、子供みこしが練り歩くなど、一日中賑いを見せていました。▽昼間の暑さはまだ夏ですが、日が陰ると気温も日増しに涼しくなり、虫の鳴き声が響きはじまりました。季節も夏から秋へと着実に移り変わろうとしています。▽秋の気配が感じられるこの時期、時の経つ早さを実感しつつ冬が気にかかります。大雪にはなりませんように……

## あとがき

## 町民憲章

- 1、ゆたかな緑ときれいな水をまもり美しい町をつくりましょう
- 1、互いに助け合い親切をつくし楽しい町をつくりましょう
- 1、産業をおこしみんなで働ける豊かな町をつくりましょう
- 1、教養を深め心と体をきたえ文化の町をつくりましょう
- 1、きまりを守り良い風習を育て住みよい町をつくりましょう

まちづくり推進員  
渡部 敦子

明和地区センター  
図書室 ☎ 86-2111

# おすすめ新着図書

## ★『ぼくがラーメンたべてるとき』



長谷川義史／著(教育画劇)  
「ぼくがラーメンたべてるとき、となりでミケがあくびした。となりでミケがあくびしたとき、となりのみっちゃんチャンネルかえた。」私たちが自分の日常を生きているその隣で誰かがその人の日常を生きている。地球は丸く、空はつながっていて、隣の隣の隣のそのまた隣にも誰かの時間が流れている。それは当然ながら、同じ空の下でたった今誰かの時間が終わろうとしていることでもあり……。結末をどう捉えるか、深い絵本です。

## ★『「体幹」ランニング』



金哲彦／著(講談社)  
恒例の只見町駅伝大会が近づき、選手の皆さんはそれぞれ練習に余念がないことと思います。そこで、今読めば即記録アップにつながる、かもしれない本のご紹介です(^\_^) 著者は有森裕子などオリンピック選手の育成も手がけたプロ・ランニングコーチ金哲彦氏。氏によると「体幹」を鍛えれば、地球の重力を味方につけ、早く長く走れるようになるのだとか。ビギナーを含め、走力をアップしたい全てのランナーにおススメです。

今回は小説好きの方のために第143回直木賞受賞作『小さいうち』や、東野圭吾、海堂尊、宮部みゆき、湊かなえなど人気作家の新作も購入しました。明和地区センター図書室にぜひお出でください。

★図書室に関する要望や購入図書の希望など、お気軽にお寄せください。

## サンボタケ

菌類／エゾハリタケ科エゾハリタケ

ブナの老木などに生えるサンボタケは、只見では味噌漬にすることでなじみのあるキノコです。縦20cm、幅15cm以上の大型で、白い半円形のカサが重なり合っています。

そのままでは硬くて食べられません。ゆでてから塩漬にして3カ月ほど置き、塩抜きしたものを味噌漬にします。食べる時は、繊維を分断するように薄切りにします。山仕事など弁当の漬物としても重宝しました。

ふつうは秋に採取しますが、腐りにくく丈夫なキノコなので、そのまま冬を越して翌春のかた雪のときに採ることもあります。



撮影／渡部仁一

### 特別企画展

○只見の秋の実り展 10月2日(土)～11月23日(祝)

### イベント・講演会

- 田子倉湖ブナ探検隊 9月25日(土)
- ユネスコ・エコパーク(生物圏保存地域)に関する講演会 10月31日(日)  
講師：酒井暁子さん(横浜国立大学大学院准教授)  
会場：明和地区センター

※この広報紙は再生紙を使用しています



※環境にやさしい大豆油インキを使用しています

## イベントカレンダー

9月

●25日(土)

「恵みの森トレッキング」

カヌー体験 in 田子倉湖

●26日(日)

「浅草岳・沼ノ平トレッキング」

10月

●10日(日)

「第48回只見駅伝競走大会」

●16・17日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

●23・24日(土・日)

「風つこ会津只見号運行」

会津若松―只見(一日一往復)

●30・31日(土・日)

「SL会津只見紅葉号運行」

会津若松―只見(一日一往復)

▼毎週日曜日、午前8時半より只見駅前「ひんのめえ市」を開催しています。

お家では食べきれない野菜を只見駅で販売してみませんか。お気軽にお問い合わせください。

▼問い合わせ

一般社団法人

只見町観光まちづくり協会

☎0241-82-5250

営業時間 午前8時半～午後6時